

## 3章 | 健康で安全安心に暮らせるまち

生活の危険を回避できる十分な体制を整備し、市民が健やかな心身を保ちながら、「健康で安全安心に暮らせるまち」を目指します。

### 1節 | 安全な生活の実現

#### 1項 危機管理体制の確立

##### 「災害時の危機管理は」

##### 【現状分析】

全国的に地震、風水害などの自然災害による被害が大きくなっており、特に局地的大雨の発生に伴う都市型災害<sup>※25</sup>などにより、市民生活に大きな影響を及ぼす危険性が高まっています。

一方、地域における防災活動の中心を担う自主防災組織<sup>※26</sup>は、高齢化やコミュニティ意識の希薄化により結成率が伸び悩み、活動は停滞傾向にあります。

また、新型インフルエンザや家畜伝染病の発生など、市民の生命や身体、財産などを脅かす様々な危機も増加しています。

##### 自主防災組織の結成率の推移

年	結成率
平成17年度末	57.0%
平成18年度末	59.0%
平成19年度末	60.8%
平成20年度末	62.5%
平成21年度末	63.7%

##### 【目指すべき将来】

行政だけでなく、関係機関をはじめ、市民一人ひとりが自分の身は自分で守り、地域や身近にいる人同士が助けあい、それらが一体となることで、災害や危機の種別に関係なく迅速に対応できる体制の整備を目指します。

##### 【対応】

関係機関をはじめとする広域的な連携や、民間企業・NPO<sup>※27</sup>などとの防災協定の拡充など、様々な災害や危機に対応可能な体制を構築するほか、雨水管の整備などを計画的に進めるとともに、各種ハザードマップ<sup>※28</sup>の作成や災害の種別に応じた緊急救援物資の備蓄を進めます。

また、地域での防災力を高めるため、情報伝達環境を充実させるほか、防災への意識啓発を行うとともに、自主防災組織<sup>※26</sup>の活性化をはかり、行政・関係機関・地域が一体となって地域防災を支える体制づくりに取り組みます。

#### ※ 25 都市型災害

都市特有の構造が主因となって起こる災害のことで、最近には特に集中豪雨による都市部の水害が増えている。

#### ※ 26 自主防災組織

地域の防災力を最大限に発揮するため、平時における防災知識の普及や防災訓練の実施および災害発生時における情報の収集・伝達や避難誘導、被災住民の救出・救護などの自主的な防災活動を組織的かつ実効性のあるものとするためにつくられる組織。

#### ※ 27 NPO

Non Profit Organizationの略で、継続的・自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

#### ※ 28 ハザードマップ

災害時における的確な避難行動や被害の低減をはかるため、予測される自然災害の発生地点、被害の拡大範囲、被害程度および避難施設などの情報を示した地図。

## 「災害に強いまちづくりは」

## 【現状分析】

市内には、木造住宅密集地や狭い幅員の生活道路、公園未整備地域などがあり、緊急時における物資輸送路や避難経路、オープンスペース※29の確保など、都市の防災機能面で十分な水準に達していない状況も見受けられます。

## 【目指すべき将来】

防災的視点を取り入れた都市機能の充実をはかり、街路や公園、河川などの都市空間が有する多面的な機能を活用した災害に強いまちの形成を目指します。

## 【対応】

防災機能の整備や、防災拠点空間としての活用を視野に入れた整備を行うとともに、地域防災を支える体制づくりの基盤として、良好な都市環境の創造と保全を行い、安全で災害に強いまちづくりを進めます。

## 2項 雪に強いまちの確立

## 「雪に強いまちは」

## 【現状分析】

市街地における堆雪場の不足などにより道路除排雪の効率性が低い状況にあります。

また、これまで道路除排雪作業の主力を担ってきた建設業者は減少傾向にあるなど、雪対策を取り巻く環境は一段と厳しくなっています。

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化などにより、屋根の雪下ろしや間口除雪など地域における雪処理の担い手不足が課題となっています。

## 【目指すべき将来】

冬期における雪対策について、市民と行政それぞれが担う役割を分担することで、安全で円滑な道路交通が確保された雪に強いまちの形成を目指します。

## 【対応】

除排雪機械の台数確保や道路区分に応じて作業の優先順位を設定するなど、効率的かつ効果的な除排雪作業につとめるとともに、堆雪場の適正配置をはじめとする雪国に適した雪対策施設の整備を進めます。

また、市民一人ひとりが担う役割と責任を明確にし、ともに支えあい、助けあう地域づくりの必要性について市民の理解を得ながら、行政・関係機関・地域が一体となった雪に強いまちづくりを推進します。



※ 29 オープンスペース  
緑地や広場を含む公共の空地。

### 3項 防犯・交通安全体制の確立

#### 「防犯対策は」

##### 【現状分析】

市民による見守りやパトロールなど地域の安全安心につながる活動が活発に行われるようになりました。

一方、犯罪内容は多様化し、その手口が悪質化、巧妙化しているほか、件数も増加傾向にあります。重大な犯罪につながりかねない不審者情報も増加しており、治安悪化に対する不安が大きくなっています。

##### 【目指すべき将来】

地域全体の治安が確保され、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指します。

##### 【対応】

「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域防犯意識の高揚をはかるため、市民一人ひとりの意識啓発につとめます。

また、警察、市、地域などがそれぞれの役割を果たしながら、緊密に連携し、効果的な防犯活動に取り組むとともに、防犯体制のさらなる強化につとめます。



#### 「交通安全対策は」

##### 【現状分析】

子どもや高齢者を対象とした交通安全指導を行っているものの、高齢者の交通事故が増加傾向にあることが課題となっています。

また、生活道路には幅員の狭い道路や見通しの悪い交差点が多く残っており、歩行者や自転車の交通環境は厳しい状況にあります。

##### 【目指すべき将来】

意識啓発や道路改良、交通安全施設の整備などにより、すべての道路利用者が安全に道路を利用できる環境の確保を目指します。

##### 【対応】

高齢者などに対し、交通安全意識を高めるための指導を継続し、行政・関係機関・地域が一体となった交通安全活動を促進します。

また、道路の危険箇所の改良や交通安全施設の設置など、計画的な道路改良に取り組みます。

## 1項 健全な消費・生活衛生環境の確保

## 「消費・生活衛生環境は」

## 【現状分析】

悪質商法による消費者トラブルが後を絶たず、多重債務者の救済も急務となっています。

また、食品をはじめとする商品やサービスの安全性に対する不安が社会的に高まっているほか、生活様式の変化などを反映して、食育<sup>※30</sup>に対する意識や動物の適正飼養<sup>※31</sup>など、生活衛生環境についての関心が高まっています。

## 【目指すべき将来】

正しい知識の普及啓発などにより、消費生活の安全安心や生活衛生環境の確保を目指します。

## 【対応】

消費者トラブルの未然防止につとめるほか、消費者が主体的に判断できるよう、知識習得機会の拡大や相談体制の充実に取り組みます。

また、施設の監視指導や検査、正しい情報の提供につとめ、食品などに対する信頼と安全性を確保するとともに、適正飼養<sup>※31</sup>の啓発や動物による危害防止対策を推進します。

さらに、「食」についての意識を高め、生涯にわたって健全な心身と豊かな人間性をはぐくんでいく基礎である食育<sup>※30</sup>の推進につとめます。

## 2項 保健・医療体制の充実

## 「保健・医療は」

## 【現状分析】

食生活やライフスタイルの変化に伴い、生活習慣病<sup>※32</sup>が増加しています。

また、自殺での死亡率が全国より高い水準で推移しており、心の健康<sup>※33</sup>問題も深刻化しています。

医療技術の進歩に伴い、市民の医療に対するニーズも高度化・多様化しているほか、高齢化により在宅医療を受ける患者が増えるなど、保健・医療を取り巻く環境は複雑化しています。

## 【目指すべき将来】

保健・医療体制の一層の充実により、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、健康的な生活を自分で選択し、生涯を通じた健康の保持増進が実践できる社会を目指します。

## 【対応】

市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康に対する意識啓発や感染症<sup>※34</sup>発生に備える体制の構築など、疾病予防対策を進めるほか、感染症<sup>※34</sup>の発生およびまん延を防止するために予防接種を行います。

また、心の健康<sup>※33</sup>に関する意識啓発や相談などを行うとともに、行政や様々な分野の関係機関・団体などと連携し、総合的な自殺対策の推進につとめます。

市立秋田総合病院については、経営の健全化につとめるとともに、地域の中核的な医療機関として医療スタッフや設備の充実をはかります。

## ※ 30 食育

食に関する様々な経験を通じて、食の安全に関する知識や望ましい食習慣を身につけるとともに、地域の産物や食文化についての理解を深めることにより、心身の健康の増進や豊かな人間形成をはかることをいう。

## ※ 31 適正飼養

人と動物の調和のとれた共生社会を構築していくために、動物の習性行動を理解し、動物の視点に立って終生にわたり飼養すること。

## ※ 32 生活習慣病

偏った食事、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣との関係が深いと考えられる病気。

## ※ 33 心の健康

「心が健康な状態」とは、周囲の人々と適切なかかわりを持ちながら、家庭や職場、地域などの日常生活において、自分の役割を果たし、社会に適応できている状態をいう。

## ※ 34 感染症

細菌やウイルスなどの病原体が体内に入り増殖して発症する疾患の総称。

### 3項 消防・救急体制の充実

#### 「火災への対応は」

##### 【現状分析】

建物火災のうち住宅火災の占める割合が多く、放火による火災も多発しています。

高齢者施設や個室型店舗などの新たな利用形態の建物も増加し、火災による逃げ遅れなどにより犠牲者が多数発生するおそれがあります。

また、産業の多様化や都市形態の複雑化などから、特異災害<sup>※35</sup>の発生が危惧されます。

##### 【目指すべき将来】

火災予防対策の強化と消防力の充実により、火災や災害による被害の少ない社会を構築し、市民の安全確保を目指します。

##### 【対応】

町内会や消防団、自主防災組織<sup>※26</sup>などと連携を進め、住宅防火や放火防止対策の強化をはかるとともに、火災危険や人命危険のおそれのある建物への査察指導を徹底します。

また、消防・救急無線のデジタル化と指令システムの機能強化による迅速で確実な出動指令体制を構築するとともに、予想される多様な火災・災害に対応できる人材の育成、施設・装備の整備と効率的な組織機構の構築により、消防体制を強化します。

#### ※ 35 特異災害

船舶・航空機火災、大規模林野火災、毒劇物漏洩事故など、人命への危険が高く、消防活動も特殊な環境下で困難かつ長時間となり、市民生活の一部にも影響をおよぼす災害をいう。

#### ※ 26 自主防災組織

地域の防災力を最大限に発揮するため、平時における防災知識の普及や防災訓練の実施および災害発生時における情報の収集・伝達や避難誘導、被災住民の救出・救護などの自主的な防災活動を組織的かつ実効性のあるものとするためにつくられる組織。

#### ※ 34 感染症

細菌やウイルスなどの病原体が体内に入り増殖して発症する疾患の総称。

#### ※ 36 AED

Automated External Defibrillatorの略で自動体外式除細動器のこと。突然心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失ったときに、心臓へ電気ショックを与えることにより正しい拍動に戻し、蘇生するための医療機器。

#### ※ 37 メディカルコントロール体制

救急現場における、救急救命士などがすみやかに医師から指示・指導・助言を受けられる体制、救命処置に対し医師が事後検証し今後の教育に役立てる体制、救急救命士の再教育体制という3つの体制。

#### ※ 38 救急救命士

救急患者に対し、医師の指示のもと気道確保や点滴、薬剤投与などの高度な救命処置を行う専門職。

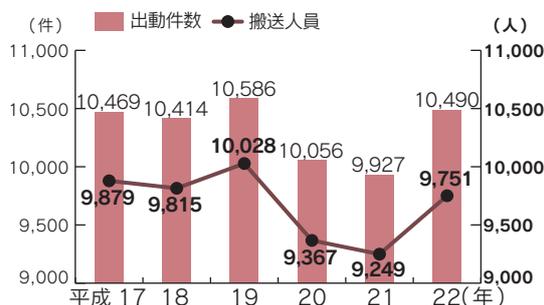
#### 「救急体制は」

##### 【現状分析】

新たな感染症<sup>※34</sup>の出現や疾病構造の変化、高齢社会などを背景に、救急搬送数は増加しています。

一方、AED<sup>※36</sup>の設置や救命講習修了者の増加により、救命に対する市民の意識は向上し、応急手当の実施率が高まっています。

##### 救急車出動件数および搬送人員の推移



##### 【目指すべき将来】

市内各所へのAED<sup>※36</sup>設置を普及させ、市民による応急手当が日常的に実践される社会を形成するとともに、メディカルコントロール体制<sup>※37</sup>の充実など、より質の高い救急体制の構築を目指します。

##### 【対応】

市民による応急手当がさらに救命に反映できるよう、より効果的な応急手当の普及啓発活動を促進します。

また、医療機関などとの連携協力態勢をより強固にし、救急救命士<sup>※38</sup>の教育研修体制の充実強化をはかります。



#### 4項 社会保障制度の確保

##### 「社会保障制度は」

##### 【現状分析】

景気の低迷や高齢化の急速な進行により、生活保護受給世帯が増えています。

また、介護保険制度は、介護保険から給付される費用が年々増加しています。

さらに、国民健康保険は、保険税収納率の低下や医療費の増加など、財政運営が厳しい状況にあります。国民年金は、年金制度に対する不信感などから保険料の未納者が増えています。

##### 【目指すべき将来】

誰もが住み慣れた地域で尊厳ある生活を送ることができ、安心して医療・介護を受けられる社会を目指します。

##### 【対応】

生活保護の被保護世帯に対して、市民の最低限度の生活を保障し、実情に即した自立支援策を実施します。

また、介護保険の適正な運営により、介護サービスの質の向上と適切な利用を促進します。

さらに、医療費の適正化などによる国民健康保険財政の健全化を進めます。国民年金は、将来の年金受給に結びつくよう、制度の周知につとめます。

